

奥州市立 前沢中学校 まなびフェスト2020

通いたい学校 通わせたい学校 勤めたい学校

まなびフェスト項目 その1

地域

更なる地域貢献活動の充実

地域貢献活動・ボランティア活動年間カレンダーを生徒アンケートを活用し、生徒自ら参加計画を立てる

① 生徒アンケートの項目「地域と関わる取組や、ボランティア活動に参加している」で積極肯定53%(R1)→

60%(R2) 以上

60%



【関連キーワード】 地域貢献、ボランティア、主体性、見通し、自己有用感、自己選択

まなびフェスト項目 その2

見通

非認知能力を育成する習慣づくり

生徒が日々の生活に見通しをもち、振り返りながら目標に向かう習慣を身につける取組として、スケジュール管理を意識した手帳を導入する

① 生徒アンケートの項目「自分で1週間の予定を立て

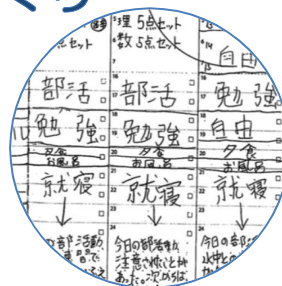
て生活・勉強している」で積極肯定30%(R1)→40%(R2) 以上

② 保護者アンケートの項目「子どもは自分の時間を計画的に使っている」で積極肯定22%(R1)→30%(R2) 以上

40%

保護者アンケート

30%



【関連キーワード】 見通し、振り返り、スケジュール管理、キャリアプランニング能力、目標設定、バランスのとれた学習と部活動、非認知能力

まなびフェスト項目 その3

本物

本物に触れるカリキュラム

本物に触れさせながら学ぶ授業、行事を企画立案し実施する

① 本物に触れさせながら学ぶ授業を各教科年1回は行う。

② 本物に触れさせる行事各学年1回、全校1回は行う。

教科、学年行事、全校各

1回



【関連キーワード】 キャリア教育、教科横断的カリキュラム、外部人材活用、キャリアパスポート

まなびフェスト項目 その4

評価

評価の工夫と見通しをもった指導

評価問題を工夫改善し、授業の改善につなげる

① 定期テスト問題の2割を活用型問題とする。

② 教員自己評価の項目「自己選択を促す発問の工夫をしている」で積極肯定60%以上

2割

教員自己評価

60%



【関連キーワード】 指導と評価の一体化、活用型問題、発展問題、応用問題、思考力、表現力、自己選択、見通し

まなびフェスト項目 その5

制御

情報端末のフィルタリングと接触時間制御

情報端末のフィルタリング推進とメディア接触ルールづくりの啓蒙を図る

① 生徒アンケートの項目「メディア接触時間」で平均時間 1時間34分(R1)→1時間20分(R2) 以下

生徒アンケート

1時間20分

保護者アンケート

30%、40%

② 保護者アンケートの項目「子どもが使う情報端末には、フィルタリングをかけている」で積極肯定37%(R1)→50%(R2) 以上

③ 保護者アンケートの項目「メディアに接する時間と就寝時刻を決めている」で 積極肯定19%(R1)→40%(R2) 以上



【関連キーワード】 情報端末、メディア接触、情報モラル、SNS、フィルタリング、生活習慣